

令和4年度 政策調整会議による事務事業評価(事前評価)一覧

No.	担当		事務事業名称	2次評価(政策調整会議)					見直しの具体的な方策及び指示事項
	課	班		必要性	効率性	公平性	緊急性	方向性	
1	町民生活課	生活環境班	葬斎場の管理運営 (中富良野町西山火葬場の共同利用)	A	A	A	B	①実施する	住民の理解を得、周知を行っていくこと。 共同利用をすることに伴い必要となる葬祭場の整備内容や方法、及び、その整備費や管理費の負担割合について、中富良野町と協議を行い、今後、実施計画に入れていくこと。
2	保健福祉課	健康推進班	低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業	A	A	A	B	①実施する	実施する。(令和5年度当初予算計上し査定へ進む) 4事業まとめた評価 産前産後の切れ目のない支援を行っていくにあたり支援事業は必要。
3	保健福祉課	健康推進班	多胎妊娠の妊婦健康診査支援事業	A	A	A	B	①実施する	実施する。(令和5年度当初予算計上し査定へ進む) 4事業まとめた評価 産前産後の切れ目のない支援を行っていくにあたり支援事業は必要。
4	保健福祉課	健康推進班	産婦健康診査費用助成事業	A	A	A	B	①実施する	実施する。(令和5年度当初予算計上し査定へ進む) 4事業まとめた評価 産前産後の切れ目のない支援を行っていくにあたり支援事業は必要。
5	保健福祉課	健康推進班	産後ケア事業	A	A	A	B	①実施する	実施する。(令和5年度当初予算計上し査定へ進む) 4事業まとめた評価 産前産後の切れ目のない支援を行っていくにあたり支援事業は必要。
6	総務課	基地調整・危機管理室	防災ハザードマップ更新	A	A	A	B	①実施する	実施する。(令和5年度当初予算計上し査定へ進む) 水防法の改正により洪水浸水区域が見直しされ北海道において区域指定されたものであり実施する。 整理ができれば住民周知をおこなうこと。
7	建設水道課	建築施設班	住宅改修費補助	A	B	A	B	②計画を見直しして実施	今までの上富良野町のスタンスとして、個人の財産取得に関しては助成は行わないとしてきており、考え方を変えるかどうかについて、もう少し議論が必要である。 補助内容についても、どこに重点を置いて制度設計を行うか、再度検討が必要である。
8	教育振興課	学校教育班	教育支援センター運営事業	A	B	A	B	①実施する	実施する。(令和5年度当初予算計上し査定へ進む) 不登校児童生徒が増加しており、学校だけではない多様な学びの場や居場所を設け、柔軟な対応をしていくことは必要。教育センターとして運営していくにあたり人材の確保は課題であり、地域おこし協力隊の活用についても特別交付税の上限にこだわることなく必要な人材が確保できるよう要項設定を行うこととし、活動終了後の人材確保についても見込んだものとする。

No.	担当		事務事業名称	2次評価(政策調整会議)					見直しの具体的な方策及び指示事項
	課	班		必要性	効率性	公平性	緊急性	方向性	
9	農業振興課	農業振興班	地域おこし協力隊(特産農作物支援)事業	A	A	A	B	①実施する	実施する。(令和5年度当初予算計上し査定へ進む) 農業に関する地域おこし協力隊については、主に農家さんのもとで業務を行うこととなるため、委嘱なのか会計年度任用職員としての雇用なのか、他の自治体の取り組み方も参考にするなど、情報を収集し要綱等をしっかり整備していく必要がある。 協力隊の活動終了後には就農につながるよう取り組んでいくこと。
10	企画商工観光課	企画政策班	地域おこし協力隊(地方創生推進事業)事業	—	—	—	—	—	現在の業務と、地域おこし協力隊に求める業務内容について、委員の皆様に分かりやすいように別の資料で説明が必要。11/14の政策調整会議に再度かけることとする。
11	議会事務局	議会事務局	議会インターネット中継と録画配信環境整備事業	—	—	—	—	—	議会のルールを互いにしっかり確認する場、協議する場が必要。 庁舎内別室での生中継は既に出来ており、事業費については機器整備内容も含め精査が必要。 議会内で話し合わせ実施したいとしている事業でもあり、政策調整会議で実施の有無についての評価は行わないこととする。お互いの協議の場が必要。
12	教育振興課	社会教育班	郷土館及び開拓記念館管理費	—	—	—	—	—	ジオパークの次回調査年は決まっており、再調査までのスケジュールとしてはタイトルカーペット整備が先ではなく、展示内容の見直し整備の方が先と考える。再考し令和5年予算措置が必要な場合は再度政策調整会議にかけることとする。
13	教育振興課	社会教育班	パークゴルフ場整備	A	A	A	B	①実施する	実施する。(令和5年度当初予算計上し査定へ進む) パークゴルフ場については維持していく方針であり、整備内容については、一番効果的で安価な方法としてほしい。 エアレーションについては指定管理者なのか別委託なのか、発注方法の精査を行うこと。調整交付金については、予算枠の予定が既にあるため、担当と調整を行うこと。
14	建設水道課	建築施設班	住宅改修費補助	A	A	A	B	①実施する	実施する。(令和5年度当初予算計上し査定へ進む) 前回の政策調整会議をふまえ調整を行った結果、個人の財産取得に関しては助成は行わないとし、購入後の改修等に補助を行っていく考えに担当課において見直し。 見直し後の内容で行くこととするが、事業予算規模については、今年度の実績見込によりシビアに予算額を算出すること。
15	企画商工観光課	商工観光班	地域おこし協力隊(観光推進員)採用	A	A	A	B	②計画を見直して実施	イベントを行うにあたり観光協会においてマンパワーが足りていないことや、収益事業が発展していないことについては理解できる。 過去において地域おこし協力隊を観光協会に配置した経過もあり、地域おこし協力隊を採用することが観光協会の組織として相違がないのか、また、事務局長が定年を迎えることから後任人材の将来像についても、組織としての考えをしっかりと確認する必要がある。
16	企画商工観光課	企画政策班	地域おこし協力隊(地方創生推進員)事業	A	A	A	B	①実施する	実施する。(令和5年度当初予算計上し査定へ進む) 任用のしかたが課題と思われるので、会計年度職員が良いのか委嘱委託方式が良いのかを検討し決める必要がある。 住宅手当や車両経費などの処遇については他の協力隊員と統一する必要がある、総務課担当と協議をして決めること。

No.	担当		事務事業名称	2次評価（政策調整会議）					見直しの具体的な方策及び指示事項
	課	班		必要性	効率性	公平性	緊急性	方向性	
17	町民生活課	税務班	土地評価路線価付設業務	A	A	A	B	①実施する	実施する。（令和5年度当初予算計上し査定へ進む） 業務の必要性については理解できるが、予算額については今後の予算査定にむけて精査を行うこと。
18	町民生活課	生活環境班	自転車用ヘルメット購入助成事業	A	B	A	C	②計画を見直して実施	まずは全世代ヘルメット着用が努力義務となったことを町民へ周知して行くのが先。学校はもとより高齢者や事業所、自衛隊員や職員への周知、販売店への周知協力や着用率の調査を行うなどし、その上で購入補助を行うのが良いのか、配布を行うのが良いのか、周知の徹底で良いのかを判断していく必要がある。
19	町民生活課	自治推進班	津市との経済交流推進事業	B	B	B	C	③実施しない	津市との経済交流は否定しないが、実施主体が経済団体であること考えると、行政経費をかけることには疑問が残る。今後、津市や観光協会等が運営体制の中に入るのであれば、イベントや物産展への参加について考えていく必要あり。